

AMED支援「研究者皆学修プロジェクト」
2020年度作成教材の内容

領域名	単元名	内容
責任ある研究行為<一般病院勤務医用>Ⅱ	人を対象とする医学系研究に関する倫理・法律と指針Ⅰ	人を対象とする研究における被験者の尊厳確保の必要性を、歴史を振り返って学び、研究に於いて必要な配慮と、それに基づく具体的な手順を学ぶ。
	人を対象とする医学系研究に関する倫理・法律と指針Ⅱ	人を対象とする研究においては、被験者が担うリスクをベネフィットが明らかに上回ることが想定される必要がある。これを確保するべく設けられた指針や法律を解説し、それらの遵守を促す。
	人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究	全ての医学・医療の領域に関係するゲノム情報の特性を理解し、個人情報を保護しつつゲノム情報を共有することの重要性、および法律下でのゲノム・遺伝子解析研究のあり方について学ぶ。
	実験動物の扱い	動物の愛護とウェルフェアの精神を実験動物に適用すべく考案された”3Rの原則”を遵守した動物実験の計画に必要な心得を理解し、動物実験の実施に当たり、特に配慮すべき手技の要注意点を最新の指針をもとに学ぶ。
	正しい統計解析手法	統計解析に関する知識不足は、わが国の臨床研究低迷の原因の一つとされ、不祥事件の背景ともなってきた。正しい解析法の選択など、基本を身に付け、時に必要となる専門家への相談を効果的なものとする。
	高い再現性を目指す義務	今日、医科学系学術誌が投稿者に求める「研究の再現性・客観性・信頼性」を担保する上で、基本的事項である疫学研究・臨床研究のデザインについて学ぶ。
	研究安全対策	研究の安全な実施のための基本事項である、バイオセーフティ、バイオセキュリティ、リスク評価の考え方を理解する。また、研究者が自身の研究成果について担う倫理的責任としてデュアル・ユースの問題を学ぶ。